

2016年9月14日

報道関係各位

公益財団法人 国際高等研究所

## 国際高等研究所「けいはんな“エジソンの会”」第4回会合の開催について

公益財団法人国際高等研究所（木津川市、理事長 立石義雄、所長 長尾真）は、けいはんな学研都市が標榜する「立地機関間の連携とそれによる成果の創出」を促進するための立地機関によるコミュニティの形成と、この街ならではの基幹技術・基幹産業の確立を目指して、「けいはんな“エジソンの会”」を発足いたしました。

具体的な「オープンイノベーション」の成功事例確立に寄与するだけでなく、けいはんな学研都市のコアとなる科学技術ドメインを確立し、世界をリードするサイエンスシティを目指します。この度、第4回会合を下記の通り開催いたします。

### 【開催概要】

- ◆日 時 10月3日（月）13：30～18：00
  - ◆場 所 国際高等研究所レクチャーホール（木津川市木津川台9丁目3番地）
  - ◆参加者 けいはんな学研都市の立地機関を中心に50名程度
  - ◆プログラム
- |              |                |       |                    |
|--------------|----------------|-------|--------------------|
| 13：30 -14：50 | 講演             | 辻井 潤一 | 産業総合研究所人口知能研究センター長 |
| 15：00 -16：20 | 講演             | 乾 健太郎 | 東北大学大学院情報科学研究科 教授  |
| 16：30 -18：00 | インタラクティブ・セッション |       |                    |

この機会に是非ご取材いただきますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

### 報道関係者の参加申し込みについて

別紙ご出欠返信用FAX用紙もしくはメールにて、9月30日（金）までにご連絡願います（FAX：0774-73-4005）

（本件に関する問い合わせ先）

公益財団法人国際高等研究所 広報課 森口 有加里

〒619-0225 京都府木津川市木津川台9丁目3番地

TEL：0774-73-4000 FAX 0774-73-4005 携帯：090-4288-4001

E-mail：[kouhou@iias.or.jp](mailto:kouhou@iias.or.jp)

ホームページ：<http://www.iias.or.jp/>

#### ○「エジソンの会」の目指すところ

当面の目標としては、立地機関を中心にあらゆる人が出入り自由で興味のあることや得意なことを交換することで、けいはんな学研都市を核としたオープンイノベーションのための技術面および連携面での基盤を構築し、2020 年までに社会実装することを目指します。

立地機関が「オープンイノベーションという協働手段を駆使して新たな価値を生み出していく」ための求心力を持つ共通の技術ドメインとして AI（人工知能）を取り上げます。内容としては、AI の現状と未来をシェアするための勉強会の実施、参画機関・企業の保有資源や資産を最大限に活かした協創のためのスキーム構築、更には具体的な協創テーマの確立と実行までを視野に入れ取り組んでいきます。

これらの活動を継続することにより、中長期的にはけいはんな学研都市のコアとなる科学技術のドメインを確立し、「シリコンバレーといえば ICT」のように、「けいはんなといえば AI」と世界に認められる幾つかのコアを生み出していきます。このようなコアがこの街で育まれることにより、人、モノ、カネ、情報が自ずと集まり、その結果として更なるシナジーの醸成につながり、持続的な成長のスパイラルが生み出されます。

#### ○第 4 回会合の概要

「エジソンの会」は、第 1 回、第 2 回とアカデミアにおいて研究を牽引してきたトップランナーの方々から人工知能の黎明期から現在に至るまでの変遷と今後について、貴重なお話をいただきました。第 3 回は人工知能を製品やサービスとして既に世界中の市場に展開し、当該分野で業界をリードしている IBM から人工知能にまつわる最新の技術動向やユーザーにおける先端適用事例を多方面から紹介いただきました。

第 4 回は、人工知能の重要な要素の一つである「自然言語処理」をテーマに展開します。現在は「ビッグデータ」の時代と呼ばれますが、それらは世の中に大量に発生しており、蓄積されているデータは膨大です。そこには様々な有益な情報が内包されているものの、人間がそれを読み解いていくには、あまりに膨大になり過ぎました。それらのデータの多くは非構造化データであり、そのままでは機械が理解できるものではありません。それらを活用していくためのキーテクノロジーが「自然言語処理」であり、人間の発する言葉や、テキストデータを機械が理解、検索、抽出、整理、分析、そして翻訳するための核となる技術です。

#### ○「エジソンの会」の企画・運営を行う「企画運営委員会」

（順不同、14 機関）

- ・ 研究機関：理化学研究所、情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所、量子科学技術研究開発機構、国際高等研究所
- ・ 教育機関：奈良先端科学技術大学院大学、滋賀大学、京都情報大学院大学
- ・ 企業：西日本電信電話株式会社、サントリーホールディングス株式会社、パナソニック株式会社、株式会社島津製作所、京セラ株式会社、オムロン株式会社、株式会社国際電気通信基礎技術研究所

#### ○オブザーバー（順不同、10 機関）

京都府、奈良県、木津川市、京田辺市、精華町、奈良市、国立国会図書館、関西文化学術研究都市推進機構、関西経済連合会、京都産業 21